



ケンタくん

「地図と測量の科学館」ってどんなところなの？

ここに行けば、地図や測量のことが楽しく勉強できるんじゃない。ひょっとしたら、わしより詳しくなれるかも知れんぞ。行ってみよう！



マップ博士

「地図と測量の科学館」は、地図や測量に関する歴史、原理や仕組み、新しい技術などを総合的に展示して、私たちの生活にかかせない地図や測量の役割を誰もが楽しみながら体感することができる施設で、「展示館」と「地球ひろば」があります。家族でのお出かけや、小・中学校の校外学習などで毎年5万人以上の皆さんに利用されています。地図好きの人からは「地図の聖地」などとも呼ばれています。

～展示館～

2階建ての展示館に入ると1階ラウンジには、縮尺が10万分1で、専用の赤青メガネで見ると日本列島が立体的に見える床地図「日本列島空中散歩マップ」が広がっています。この上を歩くと富士山や日本アルプスを踏んで歩くガリバー気分になれます。1歩の長さを1mとすると実際の距離は100kmになります。



日本列島空中散歩マップ



古地図コーナー

画面にタッチすると新旧の地図や空中写真が見られる「タッチず」、ボードをめくると正解がわかる「地図記号あてクイズ」もあります。

2階の常設展示室の「地理・地図ゲームにチャレンジコーナー」は、パソコンを使ってゲーム感覚で学べます。また「古地図コーナー」には、伊能忠敬が作った伊能図も展示しています。明治期に国が作った「迅速測図原図」は水彩絵の具により巧みに彩色されていて、見た目にも美しく見応えがあります。

～地球ひろば～

縮尺が20万分1で、直径22m、高さ約2mの登れる地球儀「日本列島球体模型」があります。この上に立つと日本の広さと地球の丸さがよくわかります。目の高さを1.5mとすると高度300kmの人工衛星から地球を見下ろしていることになります。



日本列島球体模型とくにかぜ

昭和35年から58年まで主に2万5千分1地形図を作るための空中写真撮影をしていた測量用航空機初代「くにかぜ」（ビーチクラフト・クイーンエア B-65P）も展示されています。その飛行距離は約223,000kmで地球を約5周半したことになります。



マッピーくん

さあ一度皆さんも「地図と測量の科学館」に来てみませんか。どこからかマッピーくんがそっと現れて、地図と測量の世界を案内してくれるかも知れません。

詳細は、以下のページをご覧ください。

<http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>

(総務部)